



PORSCHE

Press Release

2022年6月1日

持続可能な社会の実現に貢献する取り組み

国内輸入車メーカー初、紙パックナチュラルウォーターを全国の販売店へ導入

ポルシェジャパン株式会社（本社：東京都港区）は、この度サステナブルな取り組みの一環として、SDGsを企業活動の中核に据えている株式会社ハバリーズ（本社：京都府京都市）とともに、自動車業界から地球環境保全へ貢献するため、同社が取り扱うサステナブルな紙パックナチュラルウォーター「HAVARY'S（以下、ハバリーズ）」を、2022年8月中旬より全国の販売店（46店舗）へ導入いたします。

ポルシェジャパンは持続可能な社会の実現を目指して、フル電動スポーツカー「タイカン」の日本国内発売や、ポルシェインパクトによるカーボンオフセット制度の導入など、“ストラテジー2030”の未来に向かい、積極的にサステナブルな活動に取り組んでいます。この度、全国のポルシェ正規販売店とともに、サステナブルな活動の新たな取り組みとして、お客様の来店時にお渡ししている水の外包素材を、ペットボトルから紙パックへと変更し、お客様にもより身近にポルシェジャパンのサステナブルな取り組みに触れてもらう機会を創出します。この紙パックナチュラルウォーターは、まだ日本に紙パックを用いた持ち運べる飲料水が普及していなかった2020年夏に、ハバリーズが日本国内において初めて展開に成功しました。このようなハバリーズの情熱を持って伝統をイノベートする力と環境問題への積極的な姿勢が、ポルシェジャパンの目指す“ストラテジー2030”に対する想いや取り組みと一致していることから今回のコラボレーションに至りました。この取り組みは、販売店への導入を含め、国内の輸入車メーカーとして初めてのことです。

さらにパッケージデザインは、多岐にわたり活躍している美術家、フランキー・スィーヒ氏が手掛け、ポルシェが走る道をモチーフとしたイメージと、水や環境といったサステナビリティとの融合を感じられるオリジナルデザインが描かれています。

ハバリーズは、“1本の水から世界が変わる”という想いのもと、SDGsを企業活動の中核に据え、事業展開を行っています。紙パックナチュラルウォーターのパッケージの原料はおもに再生可能資源である紙とし、使用する包材も世界の森林保全に貢献するために責任ある調達ができるFSC認証を取得しています。紙パックはペットボトルと比べて地球温暖化リスクが40%削減されることに加え、キャップ部分は持続可能なサトウキビ生産を促進するボンスクロ認証を取得した植物性由来の素材を使用することにも成功しています。さらに参加型循環型社会の体験

として、1本購入につき1円を環境保全へ寄付するなどサステナブルな仕組みがセットされており、自社が掲げている理念・信念を実現しています。

ハバリーズ代表取締役社長の矢野 玲美氏は次のように述べています。「今回、このような素晴らしい取り組みをポルシェジャパン様とできることをとても光栄に思っています。ハバリーズは「1本の水から世界が変わる」という想いのもと立ち上げ、日本の環境社会へ貢献できる事業を行っています。このお話を頂いた際に、ポルシェジャパン様が描く未来と情熱を持ったその取り組みに共感し、それを全国の販売店とともに進めている姿勢に感銘を受け、ご一緒することを決めました。この取り組みを通じて、ひとりでも多くの方に両社のサステナビリティへの意識と考え方を伝え、世界を変えていくことへ貢献し続けていきたいと思えます。」

今回の取り組みは全国の販売店のほかにも、ポルシェ・エクスペリエンスセンター東京への導入や各イベントでの配布などを通じて、広範囲に展開していく予定です。ポルシェジャパンはサステナブルな活動を積極的に行い、これからも日本に根差すひとつの企業として、持続可能な日本社会の実現に貢献するCSR活動を行ってまいります。

<お客様からのお問い合わせ先>

ポルシェジャパンについて

ポルシェコンタクト 0120-846-911 / HP <http://www.porsche.com/japan/>

ハバリーズについて

株式会社ハバリーズお問い合わせ窓口 075-708-8880 / HP <https://havarys.com>

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

ポルシェジャパン PR 事務局 TEL : 03-5572-6063 / e-mail : porsche_pr@vectorinc.co.jp

ポルシェジャパンプレスサイト <https://press.jp.porsche.com>